

☆令和7年度の活動報告（2学期終了時まで）☆

本校は令和4年度より、子供のよりよい成長を目指して地域と連携・協働するコミュニティ・スクールとして活動を始めた。多くの地域の方に御協力いただき、それぞれの学年が、地域と密着した活動を行っている。また、今年度から、本校の研究テーマを「よりよい学級や魅力ある学校、地域社会の形成に主体的に参画しようとする子供の育成」とし、より地域の方との連携を深めつつ、教育活動を進めている。

【本校の地域と関わった主な活動】

①米作り体験活動

毎年2年生と5年生が合同で行う活動。学区内に住んでいる専門農家の方の御協力で、田植え用の田んぼを借りて行っている。また、子供たちの待機場所、手足を洗う水道やトイレなどを、田んぼの横にある会社の御厚意でお借りすることができ、活動が快適に進められる。



秋には稻刈りも体験させていただき、そこで収穫されたお米を分けていただいた。今後は、そのお米を炊いて、おにぎりを作り2年生、5年生でおにぎりパーティーを行う予定（写真は昨年



度の様子）。そこにはお世話になった農家の方をお招きする。

②野菜の栽培

学区の方を野菜名人と称して招き、各学年の野菜栽培に協力いただいている。1年生のサツマイモの苗植え、2年生の野菜栽培（ミニトマト・ピーマン・ナス）や特別支援学級のミニトマトやダイコンの栽培などに尽力いただいた。収穫した野菜は調理して食べたり、販売して算数の学習につなげたりするなど、多くの学びにつながった。



Ⓐサツマイモの苗植え Ⓑ収穫したサツマイモを食べる会 Ⓒ収穫した大きなダイコン Ⓓダイコンの販売活動

③2年生学区探検

2年生が毎年行う学区探検も、多くの支援を受けた。子供たちは20箇所の探検場所から、希望する場所を選んで訪問し、そこで働く人々と関わって学習を進めていった。これを6月と10月の2回行った。12月には、学習の成果をお世話になった施設の方々を招いて、発表会を行った。



学区探検で学区内の慈光寺を訪問



多くの方を招いて行った学習発表



④地元の方をゲストティーチャーとして招いた授業

本校の学区は、農業をはじめとして様々な産業があり、子供たちの学習の教材となるものが多くある。また、伝統的な行事や祭りも継続しており、歴史の面からもよい本校では学習内容を深めるため、学区内で働く方をゲストティーチャーとして招き、授業に参加していただくことがある。ゲストティーチャーになった方は、協力的でたいへん有益な話をしてくれる。

5年 伝統的な祭りについて学ぶ授業





⑤学校全体で年間を通して行う活動 なのはなプロジェクト

学区のシンボルである菜の花を広めようと、4年生を中心に学校全体で取り組む活動。4年生は、学区内の畑で菜の花を育てたり、菜の花（菜種油）についての学習に取り組んだりする。菜種の採集（全校）から、6月に菜種油の搾取体験活動を行った。



10月には、春の開花に向け学区内でお借りした菜の花畑に種まき活動を行った。多くの学区の方がこの活動に参加され、一緒に活動できた。



11月に菜種油製造過程についての校外学習を行った。

写真左:太田油脂工場見学

写真右:ほうろく屋見学



11月にはJAの職員の方をお招きし、菜種油とサラダ油の味比べをするポテトの会も行った。

ポテトの会